

○ 納入経費

大学納付金

入学料 282,000円
授業料 535,800円(年額)

在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。なお、上記納付金額は予定額です。

その他の経費

学生教育研究災害傷害保険保険料
3,300円(保険期間4年)
 学研災付帯賠償責任保険料
1,360円(// 4年)

○ 学費の免除

選考により、次の制度の適用を受けることができます。

1. 入学料の全額または半額が免除される制度、及び徴収が猶予される制度
2. 授業料の全額または半額が免除される制度、月割分納及び徴収が猶予される制度

○ 奨学制度

- 日本学生支援機構、地方公共団体、その他の奨学財団からの各種奨学制度があります。
- 平成29年3月現在、在学生の約41%にあたる658名の学生が日本学生支援機構の奨学金を受けています。
- 日本学生支援機構の奨学金は、優れた学生であって経済的理由により修学に困難がある者に対して貸与されます。
- 奨学生には、無利息で奨学金を受ける「第一種奨学生」と利息付き(年3%以内)の奨学金を受ける「第二種奨学生」の二種類があります。
- 「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」は卒業(修了)後6月を経過した後、20年以内に貸与を受けた奨学金を年賦、半年賦、月賦等により返還することとなります。

■ 奨学金貸与者数

区分		貸与者数
日本学生支援機構	第一種奨学生	402
	第二種奨学生	330

※併用 貸与者74名

■ 奨学金の種類及び貸与月額

奨学金の種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種奨学金	3万円、4万5千円から選択	3万円、5万1千円から選択	無利子
第二種奨学金	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円の中から選択		有利子

※第二種奨学金では、入学月の基本月額に増額して貸与を受ける入学時特別増額貸与奨学金の制度がある(金額10万円、20万円、30万円、40万円、50万円)。



「人間」について学んだことが生きています！ Message

教育学部では、人間に関するありとあらゆることについて学ぶことになります。それゆえ、教育学部から成る宮城教育大学は、さしずめ「小さな総合大学」とみなされるでしょう。小さな大学で「人間」について学んだことを大きくいかして、本学の卒業生は、教員はもちろんのこと、社会の様々な分野で活躍しています。



Message 01

教諭（仙台市）

靄田 伸枝さん

2013年3月 初等教育教員養成課程
英語コミュニケーションコース卒業

「大学生のうちにできることを」「大学生だからできることを」と、先生方によく励まされました。海外に広く興味を持っていた私は、留学生と宮教生が仲良くできるよう国際交流サークルを立ち上げました。

また、岩沼市の中学生と共にアメリカのドーバー市で研修し、次の年にはオーストラリアへ長期交換留学をしました。

やりたいことをして後悔の無い学生時代だと言えますが、それ以上に宮教大で得た最大の宝は人との縁です。何か行動を起こしたいとき、必ず力になってくれる教職員の方々や、先輩、後輩、仲間がいました。サークルは一人だけでは創れません。新しいことをやってみようという意欲のある仲間が集まったから実現できたことです。留学へ行くことができたのも、英語の勉強を一緒にがんばる仲間や応援して下さる先生方がいたおかげです。

宮教大には、海外からの留学生を含め、教員を目指している学生が集まるので、明るく優しく温かい人たちが多く、安心できる雰囲気は私には合っていました。今では世界中に友人がいます。教員として子供たちに伝えられる経験を得ることができたことを幸せに思います。



Message 02

教諭（仙台市）

土佐 克也さん

2016年3月 初等教育教員養成課程
教育心理学コース卒業

人と関わることが好きな私は、教員になるために入学した宮城教育大学でも、多くの人や子どもたちと関わり、様々なことを学ばせてもらいました。

入学後すぐに入った入院児と関わるサークルでは、入院中のお子さん週に一度楽しく関わることで、一人一人の子どもと向き合う大切さを学びました。また、大学4年からは仙台市の小学校で学生ボランティアとして活動させていただき、先生方の指導や子どもたちの様子から現場でしか味わえない気付きを得て、多くのことを学ばせていただきました。他にも子どもたちとのキャンプや震災復興のボランティアなどでも多くの子どもたちと関わることができました。

そして、そうした活動はもちろん、部活動や学校生活の中でも多くの人達と関わりました。その中でできた周囲の人達とのつながりは、私を成長させてくれましたし、今でも大きな支えになっています。大学で同じ志を持った友人やお世話になった人々に出会えたのは、自分なりにアクションを起こして、様々な活動に参加させていただいたからだと思います。ぜひみなさんも宮城教育大学で様々な活動を通して、多くの人・子どもたちとつながり、自分を成長させていってください！



Message 03

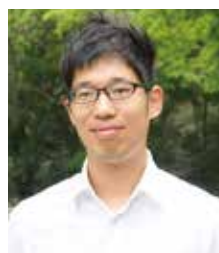
教諭（栗原市）

足利 璃子さん

2015年3月 中等教育教員養成課程
国語教育専攻卒業

教員生活3年目を迎えました。日々、変化と成長を続ける生徒達に、「自分もまだまだこれから」という気持ちで向き合っています。教員としての生活を始めてから、生徒はもちろんのこと、先生、地域の方々などたくさんの人と出会うことができました。どれも今後の自分の成長につながる出会いと考えています。ただ、楽しいことや嬉しいことばかりではなく、辛いことや困難と出会うことも、当然ですが、あります。その時に、自分の心の拠り所としているのは、宮城教育大学で出会うことのできた友人達です。彼らの多くが私と同じように教員として頑張っています。同じ職業だからこそ理解し合える部分があるのかもしれませんが。そのような意味で、この大学での出会いには心から感謝をしています。

最後に、今の私が最も苦労しているのは、経験の浅さです。宮城教育大学は確かに先生を目指す人が通う大学です。しかし、この大学でできることは、教育実習や授業作りに関する講義を受けることだけではありません。人として、多くの経験を積み、多くの出会いを得て、みなさんの将来につながる大きな財産を得られるような大学生活を送ってほしいと思います。



Message 04

教諭（仙台市）

相田 純さん

2015年3月 特別支援教育教員養成課程
発達障害教育コース卒業

私は、教員として採用され、今年度で2年目となります。まだまだ、周りの先生方に支えられながらの仕事の日々が続いております。学部生時代は、特別支援教育教員養成課程発達障害教育コースに在籍し、硬式庭球部や協学生委員会などの活動にも取り組みました。そこで得た知識や、仲間と過ごした時間は、かけがえないものであり、心の支えとして簡単に手に入る物ではないということを日々実感しています。

現在、私は特別支援学校に勤務しており、中学部の学級担任をしています。生徒とは、彼らの好きなことや興味のあることについて、話し掛けたり聞いた中で信頼関係を作ることができ、生徒のちょっとした成長を肌で感じる日々や彼らと過ごす時間を大切に、楽しみながら指導に当たっています。

さて、宮城教育大学合格を目指し、勉学に励んでいる皆さんは大学生活への期待を胸に努力をしている最中だと思います。現在の高校生活の中でも、様々な経験をしていると思いますが、大学生活の中で勉学の他に、部活動やボランティアやアルバイトなど自分が何をしたいかも考えてほしいと思います。私も、ボランティアやアルバイト、部活動に没頭し、社会経験を積むことで、体調管理や、スケジュール管理の大切さと社会参加への責任と重さを知ることができました。大学生として自分の将来に向けて、何を経験したいかも考えながら、日々の勉学に励んでください。